



# SAIE かわら版

国籍を超え、相互理解を深め、「つながり・きずな」を大切に



SAIE主催  
イベント

参加者募集！  
国際理解講座

ベトナムってどんな国？～第2弾～



講師  
グエン ティ トウイ チンさん



第1弾は地域によって違うベトナムの文化の違いなどを紹介しました。今回はどのような歴史を歩んできたのか、現在日本に住むベトナム人はどんな状況なのか、また、お正月に何をして何を食べるのかなど地域により違う食生活や生活習慣なども紹介します。是非お気軽にご参加ください。

日程：2023年2月1日(水)午後1時半～3時

場所：コミュニティプラザ会議室3・4

定員：25名

参加費：無料

申込：協会まで電話・メールで受付

～講師からのメッセージ～

“一期一会”日本語の中で一番好きな言葉です。人と会える機会は二度と繰り返されることのない、一生に一度の出会いであるということを心得て大事にしています。毎日の生活の中に一人一人に出会える縁があると考えています。そんな日本語の言葉の意味が素晴らしいと思い、更に日本のことを知りたいと思いました。国によって言葉は違いますが、人と人が繋がるのは心からだと思い、書き方、読み方が違って言葉の意味は同じだと考えています。現在大阪学院大学でマーケティングを学びながら、ロータリー奨学生として日本の文化を勉強しています。

SAIE主催  
イベント

参加者募集！

日本語支援ボランティア養成講座～スキルアップ編～



講師  
矢谷 久美子さん  
(日本語教育支援グループ  
ことのは理事長)

「生活者としての日本語」を身につけてもらうにはどうしたらいいでしょうか？学習者の状況に応じた活動方法を知って活用しましょう。

SAIE主催  
イベント

参加者募集！  
国際理解講座

歴史に恵まれた国 - ペルーの紹介 -



講師  
サウセド セガミ ダニエル ダンテさん



マチュピチュ遺跡で有名なペルーは、豊かな歴史と文化に恵まれた国です。インカ帝国で知られていますが、ペルーは5000年以上の歴史を持つ、古代神殿を建設した複数の民族が存在した国です。また、ペルーは日本との関わりが深い国です。2023年は日・ペルー外交関係樹立150周年となり、中南米で国交を結んだ最初の国です。本講座でペルーの歴史と現代の文化、及び日系人の現状を紹介します。

日程：2023年3月14日(火)午後1時半～3時

場所：コミュニティプラザ会議室3・4

定員：25名

参加費：無料

申込：協会まで電話・メールで受付

～講師からのメッセージ～

ペルーのリマ市の出身で、ペルー教皇カトリック大学で考古学を学びました。その後、日本へ留学生として、熊本大学、岡山大学と総合研究大学院大学(国立民族学博物館)で日本の考古学と文化人類学を学び、古代遺跡と現代の地域住民の繋がりの研究を始めました。現在、立命館大学政策科学部の准教授として、日本とペルーにおけるまちづくりで遺跡の役割、ペルーの日系人の歴史について、研究をしています。

日程：2023年2月14日、21日、28日(火)

午後1時半～3時(全3回、1回のみ受講可)

場所：コミュニティプラザ会議室4

定員：16名

参加費：無料

申込：協会まで電話・メールで受付

- 第1回目 はじめて日本語を学ぶ人との活動
- 第2回目 学習者に合わせたテキスト活用法
- 第3回目 教室の活動あれこれ

# イベント報告

## 国際理解講座 私の過ごしたアメリカ ～アメリカ合衆国の文化紹介～

講師：ヘイル スティーブンさん (OFIX国際交流員)  
 開催日：12月8日(木)午後1時半～3時  
 開催場所：コミュニティプラザ会議室3・4  
 参加者：30名

### 参加者の感想

- アメリカは広い。気候風土が様々な州がある中、テネシー州の事を色々知ることができてよかったです。ペーパーフットボール、ホットポテトのゲームも面白かったです。
- テネシー州と大阪は緯度が同じで、夏は暑く湿度も高い。食文化で米国では給食はないと思っていたのですが、あるのにびっくりしました。教室は職員室であることにおどろきました。生徒は食事をカフェで食べる。
- アメリカの義務教育が高校までと初めて知った。
- テネシー州はもっと田舎かと思っていたので、ナッシュビルの映像に少しオドロキました。色々盛りだくさんに教えて下さり面白かったです。ぜひグレースランド(エルヴィスの聖地)の写真も加えて下さい。
- 私の知っているアメリカのイメージがずいぶん変わりました。出身者の地域を紹介していただくのはとても良い事だと思いました。



アメリカって  
どんな国？

- 1776年7月4日(独立記念日)
- 国旗(50個の星=州の数、13本のストライプ=もともとあった13の植民地の数)
- 学校のシステム=幼稚園(1年間)、小学校(5年間)、中学校(3年間)、高校(4年間)、夏休みは6～8月
- テネシーは The Volunteer State (志願兵が一番多い州)の愛称を持つ
- エルヴィス・プレスリーはミシシッピ生まれだが、後にメンフィスに移住したので、テネシー州の有名人
- 音楽(カントリー・ミュージック)を目指す若者が集まる



たくさんご参加いただき、ありがとうございました。楽しくアメリカの文化を紹介ができてうれしいです。これからずっと日本とアメリカの良い関係に貢献したいと思います。よろしくお願いたします。

## 新春の寄せ植え講座

### せつつ日本語SAIE・日本語サロン合同イベント

講師：久保初子さん(花装I級技能士)  
 開催日：12月13日(火)午前10時～11時半  
 開催場所：コミュニティプラザ会議室3・4  
 参加者：19名(うち外国人学習者5名)  
 (モンゴル、モロッコ、インドネシア、中国)

今回は新春にふさわしい門松の寄せ植えを行いました。また、餅花に見立てた飾りを手作りして添え、松竹梅のお話を聞きました。皆さん思い思いの作品が出来上がり、良いお正月を迎えられそうと好評でした。



ほんとうにおもしろかったです。  
 どうもありがとうございました。

おはなつくるのはよかったです。  
 でもありがとうがほしい。

I'm Sarah MARINA, I like very much best moments here  
 and all teachers, very nice people, Peace and Love

Association SetSU



MARINA SAN  
 1)-ナ

感謝しました



しょうがつにおきてじぶんのおはなちゃんじいろいろおしゃべり  
 してもらったのでとてもよかったです。たのしかったです、そしてきれいでした  
 ありがとうがほしいです。

## 日本語サロン報告

### みんなで行って楽しかった！日本語サロン「秋のお出かけ」

さわやかでいい天気の日11月10日(木)、日本語サロンの12人で「秋のお出かけ」をしました。インドネシア、韓国、モロッコから来た人5人と、日本語でおしゃべりする7人のメンバーです。外国から来た人には、日本に住んで長い人も、来たばかりの人も、小さいお子さんもいます。電車とモノレールで公園に行き、広い園内を歩いて、



紅葉を楽しみました。日本庭園の茶室でお茶の体験をしました。茶室で説明を聞いて、和菓子と抹茶をいただきました。庭で水琴窟の音も聞くことができました。いろいろ見たり聞いたり食べたりして、ふだん話すことが少ないメンバーともたくさんおしゃべりできて、とても楽しいお出かけでした。(木村)



#### 学習者の感想

- みなさんといっしょにステキな秋のきせつをみれました。ほんとに良かったです。そして日本のまっちゃんいろいろべんきょうになりました。とても嬉しかったです。ありがとうございました。今年の秋、いい思い出になりました。楽しかったです。
- 私も今日凄く楽しかったですー。抹茶やまっちゃんの歴史の話は全部分かるのは無理でしたが、なんか面白いとおもいました。天気もよかったし、何よりも皆人とたくさんおしゃべりしたのが凄く楽しかったです！出来れば、また今度行きたいですー。
- つかれもありましたが、すごく楽しかった。
- 本当にいい瞬間だったし、とても楽しかったです。

#### 予告

### 外国につながる方の集まり

日程：2023年4月23日(日)午後2時～4時

場所：コミュニティプラザ和室1・2

対象：外国にルーツをお持ちの方、国際結婚をしている方など、親子で参加できます。

- お知り合いに対象の方がおられましたら、協会までお知らせください。(要申込)

### CETアカデミックプログラムプロジェクト・インタビュー

開催日：10月7日(金)午前10時～12時

場所：大阪学院大学 参加者：2名

留学生からインタビューを受けて、祭りや神社など日本の文化について説明しました。

### OFIX主催「やさしい日本語ネットワーク会議」

開催日：11月24日(木)午後2時～4時

場所：コミュニティプラザ事務局、ZOOM 参加者：5名

講師は生野区シティプロモーション及び多文化共生担当の方でした。外国の方へ分かりやすく伝えるための「やさしい日本語」への置き換え方などのお話を聞きました。



### ラオスのすっぱいおやつ文化 ペンネーム:らお子さん(JOCA大阪)

ラオスの人たちは、おやつのことを「**ກິນສົມ** (キンソム)」と呼びます。「キン=食べる」、「ソム=すっぱい」の意味で、おやつになるとその言葉のとおりすっぱいものを食べる文化があります。例えば、日本人が想像するマンゴーは、オレンジ色に熟した甘いものが一般的ですが、ラオスの人たちはまだ熟していない固いマンゴーをしゃりしゃりと食べます。また、グアバや、ナツメの実なども、熟れる前のものを好んで食べます。そうした酸っぱい果物には、塩にニンニク、唐辛子、うま味調味料などを混ぜた特製の調味料をつけて食べます。ちなみにこの「熟れていない果物を食べる文化」はお隣のカンボジアにも見られました。午後になると、透明のケースをタイカブの荷台にのせたキンソム屋さんが、「チリンチリン」と鈴を鳴らしながら街中を走っています。その時の旬のフルーツを色とりどりに並べたキンソム屋さん、東南アジアで見かけた際はぜひ試してみてくださいね。



#### 予告

### 摂津の図書館を使ってみよう！

日時：2023年3月2日(木)午前10時30分～11時45分

場所：摂津市民図書館(摂津市正雀4丁目9-25)

- 内容：
- 図書館の中を案内し、図書館の使い方を説明します。
  - 日本語の勉強に役立つ本を紹介します。
  - 自分の国の絵本などを読みあい、交流の時間を作りましょう。

対象：①外国人の方

摂津市にお住まい、在学(学校)、在勤(仕事)の方など

②①以外の外国人支援をされている方、または支援に興味をお持ちの方

定員：①②あわせて10名

参加費：無料

申込：協会、または摂津市民図書館へ電話で申し込んでください。(摂津市民図書館 06-6319-0577)

- お知り合いに外国人の方がおられたら、このイベントをご紹介ください。

## 摂津市在日外国人教育推進協議会

会長(鳥飼北小学校長) 荒木 智雄

摂津市在日外国人教育推進協議会(以下「市外教」)は、1992年に設立された摂津市内小中学校教職員による研究団体の一つです。人権教育研究会の中の部会や、市内に2名配置されている日本語指導担当教員を中心に事務局を構成し、各小中学校から1名の運営委員を出して実務を担っています。



具体的には「3大行事」と呼ばれるイベントの主催をメインに活動しています。①夏の「ハギハッキョ」(市外教の原点である在日韓国・朝鮮の子どものつどい)、②秋の「多文化子ども交流会」(すべての国にルーツを持つ子どものつどい)、③冬の「ともに生きるつどい」(7小学校にある多国籍民族子ども会の舞台発表会)の3つです。市教委から派遣される国際理解講師(兼通訳)の先生方と協力して作り上げます。摂津市内には15の小中学校がありますが、現在、外国にルーツを持つ児童が160名近く(内、外国籍児童約35名)在籍しています。市外教発足時は在日韓国・朝鮮の方が多かったのですが、徐々に中国渡日が増え、次にフィリピンとベトナムの方が増えてきました。今年はミャンマーやシリアからも編入があり、その国の数は実に25か国に上り、非常に多国籍化しています。

目の前に「生きにくさ」を抱えた人がいる、そのことに気づいて、その原因を取り除き、支援することが人権教育の目標です。在日外国人にとっての「生きにくさ」とは、まずは言語の課題です。そして文化の違いからくるさまざまなズレの修正です。想像以上に難しいのは、在住期間が長くなると日常の「生活言語」は交わせるようになっていきますが、家庭の言語が日本語でない場合、保護者の方が宿題を教えることが出来なかったり、日常では使わないけれども教科書には出てくる「学習言語」がなかなか身に着かなかったりすることです。子どもが学校でどんどん日本語を覚え、ルーツの母語を使わなくなると、親子のコミュニケーションに支障が出ます。

他にも、日本での生活そのものに課題が発生することもあります。子どもの環境改善のためには保護者の方の支援が必要になることもあります。さらには、昔に比べると随分目立たなくなりましたが、マイノリティー故の差別や偏見が完全になくなってはおりません。皆さんは、今課題となっている「マイクロアグレッション」という言葉を聞いたことがありますか?それはまた次の機会に。

外国ルーツの子どもが在籍している学校には、その子に応じた合理的な配慮が必要になりますが、もう一方で、日本の子どもたちにとっては、貴重な多文化共生教育の生きた教材となります。「生きにくさ」の一番の解消法は、お互いを知ることです。「多文化共生感覚」「相互理解コミュニケーション力」は、これからの世界規模でさまざまな課題を解決していく上で身につけておくべき、重要な資質・能力です。これらの教育活動は、それぞれの学校で取り組みます。

一方、在日外国人に必要なもう一つの支援が、同じ在日同士のネットワークづくりです。この部分の一つの学校では限界があるので市外教が担います。ネットワークは異国の地で生活していく上での大きな助けになると同時に、子どもたちに母国のアイデンティティーを育むことにもつながります。異国でのマイノリティーとしての境遇に生きにくさを感じるのではなく、母国から異国に来て生活している自分に誇りを持たないと学校生活にも前向きになれません。



ルーツの国と日本という国の「ダブル」である自分に誇りを持って、将来、多国籍を結ぶ懸け橋のような人材に育てて欲しいと願っています。外国ルーツの大人の方も、今、日本に住んでいる限りは、皆さんとともにその地域コミュニティーを形成する一員です。すべての第一歩は、お互いを知ることから始まります。

## 摂津市国際交流協会

〒566-0021 摂津市南千里丘 5-35

摂津市立コミュニティプラザ 2F

TEL: 06-6319-6251 FAX: 06-6318-6004

Email: office@settsu-saie.org

URL: <http://settsu-saie.org>

開室時刻: 平日 9:30~12:00、13:00~16:30  
(休館: 第4水曜日)

### 会員募集

●年会費: 個人: 3,000 円 / 家族: 5,000 円

青少年: 1,000 円 / 法人・団体: 10,000 円 (1口)

●当協会の事業に無料または割引での参加特典がございます。

●「かわら版」のお届けと催事参加申込みなども優先的に受け付けます。



LINE 公式アカウント  
アカウント名:  
摂津市国際交流協会  
ID: @462xxegy